

令和5年第2回松野町議会定例会議事日程 第1号

令和5年6月14日（水）午前9時30分開議

- 1 開 会 宣 言（ : ）
- 2 町長議会招集挨拶
- 3 諸 般 事 項 報 告
- 4 開 議（ : ）

日程 番号	議案 番号	議 案 名
1	—	会議録署名議員の指名 番 議員 ・ 番 議員
2	—	会期の決定 月 日から 月 日までの 日間
3	—	一般質問（6番、3番）
4	報告 2	鬼北土地開発公社に関する報告について
5	報告 3	株式会社まちづくり松野に関する報告について
6	報告 4	株式会社松野町農林公社に関する報告について
7	報告 5	令和4年度松野町一般会計繰越明許費繰越計算書について
8	報告 6	令和4年度松野町一般会計事故繰越し繰越計算書について
9	承認 6	専決処分の承認について（令和5年度松野町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号））
10	議案 32	旧慣による公有財産の使用権の廃止について
11	議案 33	町有財産のうち旧慣使用財産売却処分に伴う補償に関する条例の制定について
12	議案 34	令和5年度松野町一般会計補正予算（第2号）
13	—	議会運営委員会の閉会中の継続調査の件
14	—	議員派遣の件

- 5 閉 議（ : ）
- 6 閉 会（ : ）

◇ 諸般事項報告（出席者の報告）

地方自治法第121条第1項の規定により、本日の会議に出席する者は、
下記のとおり

記

職名	氏名	職名	氏名
町長	坂本 浩	会計管理者兼出納室長	久保田 忠
副町長	八十島 温 夫	建設環境課長	谷口 健 二
教育長	三好 秀 二	町民課長	芝 吉 彦
総務課長	友岡 純	保健福祉課長	瀧本 美 樹
防災安全課長	中井 和 彦	教育課長	森本 秀 行
ふるさと創生課長	井上 靖	代表監査委員	榎本 孝 幸
農林振興課長	小西 亨	—	—

議会閉会中の主要行事・事務等一覧表

松野町議会

日 付	主要行事・事務	場 所	出席者等
4月10日	各町内小学校入学式		議員
4月10日	北宇和高校令和5年度入学式	鬼北町	議長
4月11日	松野中学校入学式		議員
4月16日	池田忠幸元愛媛県議会議長お別れの会	西予市	議長
4月21日	北宇和郡議会議員研修会		議員
4月27日	令和5年度滑床山開き		正副議長 産業委員長
4月27日	全員協議会		
4月28日	令和5年度松野町松和会総会		議長
5月16日	令和5年度愛媛県予土線利用促進協議会第1回総会	鬼北町	議長
5月17日	令和5年第1回臨時会		
5月17日	全員協議会		
5月20日	令和5年度松野町商工会通常総会		議長 産業委員長
5月23日	令和5年度町村議会議長・副議長研修会	東京都	議長 副議長
5月24日	令和5年度愛媛県町村議会議長会第1回臨時総会	東京都	議長

5月25日	令和5年度愛媛県人権教育協議会松野支部 理事会		議長 総務委員長
5月27日	森の国まつの応援団関西支部の集い	大阪府	議員
5月30日	令和5年度四国西南地域道路整備促進協議 会総会	愛南町	議長
6月6日	鬼北土地開発公社理事会	鬼北町	議長
6月6日	森の国安全で安心なまちづくり祈願祭		議員
6月7日	全員協議会		
6月7日	議会運営委員会		
6月8日	令和5年度松野の里を美しくする協議会		議長
6月10日	令和5年度予土歴史文化研究会松野支部総 会		議長
6月11日	令和5年度愛媛県町村議会議長会第2回役 員会	松山市	議長
6月12日	令和4年度愛媛県町村議会議長会会計監査	松山市	議長

一 般 質 問 表

令和5年第2回定例会

通 告 者	質 問 内 容
1 番 山石 恭助	<p>○南海トラフ地震発生に伴う防災減災対策について</p> <p>(1) 東日本大震災は、想定外の災害だったため、ハザードマップは参考にならなかった、と言われているが、町としてはどのように考えているか。</p> <p>(2) 松野町は急傾斜地危険地域が多く、山、道路、橋等の崩落倒壊による多数の被災者が予想される。避難所の周知や確保についてどのように考えているか。</p> <p>(3) 町内には高齢者、独居者、障がい者が居住されているが、情報の伝達、避難支援はどのように考えているか。</p> <p>○町内におけるヤングケアラーの現状について</p> <p>少子高齢化や核家族化、共働き世帯の増加や家庭の経済状況の変化などにより、本来大人が担うと想定されている家族の介護、食事の支度、家計を支える労働などを日常的に行っているヤングケアラーが社会的な問題になっている。</p> <p>そこで、松野町におけるヤングケアラーの現状と具体的な支援体制について質問する。</p>

2 番
山崎 匡

○少子化対策・子育て支援・学校教育について

(1) 国会でも重要な問題として、少子化対策が議論されていますが、過疎化の著しい松野町としても大きな課題とされます。先だって内閣での骨太の少子化対策ということで、18歳までの児童手当の延長の方針が検討されるということが報道されました。松野町においても子育て支援等いろいろな政策等を実施していることは存じております。なかなか即効性のある政策等は難しいと思いますが、今、実施している政策について実績・成果も含めてお答えください。

(2) 過去において、中学生の海外短期語学留学を行っていた記憶があるのですが、インバウンドも復活しつつあり、グローバルな人材を育てるうえで松野町らしく正に有意義な活動だと考えます。コロナの感染症対策も緩和され、海外渡航も以前に戻りつつあると思いますが再開する考えはあるでしょうか。

(3) 以前に中学生との議会体験会のような催しを開催したと聞いたのですが、町政に興味を持っていただき、町長の役目、議会の役割を知ってもらえるいい機会だと思います。将来の松野を担う世代との交流は議員自身が自ら襟を正す貴重な機会です。いろいろな世代を含めて出来るだけ多く開催してはどうでしょうか。

(4) 教員のブラック企業化した労働時間のことが社会問題となっております。働き方改革が必要と言われていますが、私が調べたデータによると、小中学校教員の平均労働時間は一日11時間を超えており、また休憩時間がないと答えている方が小学校で51.2%、中学校で47.3%に上ります。町内の教員の心身の健康状態が心配される所です。現在の状況・対策等、改善の取組みについてお答えください。

報告第2号

鬼北土地開発公社に関する報告について

地方自治法第243条の3第2項の規定により、下記のとおり報告する。

令和5年6月14日提出

松野町長 坂 本 浩

記

令和4年度鬼北土地開発公社事業報告及び決算

令和4年度

鬼北土地開発公社決算書

令和5年6月

目 次

1	収支決算書	1 ~ 6
2	財産目録	7
3	貸借対照表	8
4	損益計算書	9
5	キャッシュ・フロー計算書	10
6	事業報告書	11 ~ 13
7	附属明細表	14 ~ 18
	現金及び預金明細表	14
	公有用地明細表	15 ~ 16
	資本金明細表	17
	運営費補助金明細表	18
8	決算意見書	19

1 令和4年度 鬼北土地開発公社
収 支 決 算 書

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

収益的収入及び支出
収入

(単位:円)

款	項	目	予 算 額					節		決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
			当初予算額	補正予算額	繰越財源 充当額	計	区 分	金 額				
1 事業収益			0	0	0	0		0	0	0		
小 計			0	0	0	0		0	0	0		
2 事業外収益	1 受取利息	1 受取利息	2,000	0	0	2,000	1 普通預金利息	1,000	5	△ 995		
							2 定期預金利息	1,000	100	△ 900		
	4 雑収益	1 運営費補助金	180,000	0	0	180,000	1 運営費補助金	180,000	101,808	△ 78,192		
小 計			182,000	0	0	182,000		182,000	101,913	△ 80,087		
合 計			182,000	0	0	182,000		182,000	101,913	△ 80,087		

支出

(単位:円)

款	項	目	予 算 額					計	節		決算額	繰越額	不用額	備考
			当初予算額	補正予算額	繰越額	予備費 支出 及び 増減額	計		区 分	金 額				
1 事業原価			0	0	0	0	0		0	0	0	0		
小 計			0	0	0	0	0		0	0	0	0		
2 販売費及び一般管理費	1 販売費及び一般管理費	1 人件費	50,000	0	0	0	50,000	1 報酬	50,000	59,835	0	△ 9,835		
		2 経費	106,000	0	0	0	106,000	4 需用費	100,000	3,300	0	96,700		
								5 役務費	6,000	3,951	0	2,049		
小 計			156,000	0	0	0	156,000		156,000	67,086	0	88,914		
合 計			156,000	0	0	0	156,000		156,000	67,086	0	88,914		

資本的収入及び支出

収入

(単位:円)

款	項	目	予 算 額					節	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考	
			当初予算額	補正予算額	繰越財源 充当額	計	区 分					金 額
1 資本的収入	3 長期借入金	1 長期借入金	26,000	0	0	26,000	1 長期借入金	26,000	25,819	△ 181		
合 計			26,000	0	0	26,000		26,000	25,819	△ 181		

支出

(単位:円)

款	項	目	予 算 額						節	決 算 額	繰越額	不 用 額	備 考	
			当初予算額	補正予算額	繰越額	予備費 支出及 び流用 増減額	計	区 分						金 額
1 資本的支出	1 公有地取得事業費	1 公有地取得事業費	26,000	0	0	0	26,000	1 用地費	0	0	0			
								5 支払利息	26,000	25,819	0	181		
								6 諸収入	0	0	0	0		
合 計			26,000	0	0	0	26,000		26,000	25,819	0	181		

2 令和4年度 鬼北土地開発公社
財 産 目 録
(令和5年3月31日)

(単位:円)

(資産の部)

現金及び預金

 普通預金

111,913

 定期預金

5,000,000

5,111,913

公有用地

 鬼北町1件

 4,391㎡

17,238,603

特定土地

0

 資産合計

22,350,516

(負債の部)

未払金

 事業未払金

0

未払費用

 未払費用

0

預り金

 短期預り金

111,913

その他の流動負債

 仮受金

0

長期借入金

17,238,603

 負債合計

17,350,516

 正味財産

5,000,000

3 令和4年度 鬼北土地開発公社
貸借対照表
(令和5年3月31日)

(単位:円)

(資産の部)

I 流動資産

現金及び預金	5,111,913
公有用地	17,238,603
特定土地	0
流動資産合計	22,350,516
資産合計	22,350,516

(負債の部)

I 流動負債

事業未払金	0
未払費用	0
預り金	111,913
その他の流動負債	0
仮受金	0
流動負債合計	111,913

II 固定負債

長期借入金	17,238,603
固定負債合計	17,238,603
負債合計	17,350,516

(資本の部)

I 資本金

基本財産	5,000,000
資本金合計	5,000,000

II 準備金

前期繰越準備金	0
当期純利益	0
準備金合計	0
資本合計	5,000,000
負債資本合計	22,350,516

4 令和4年度 鬼北土地開発公社
 損益計算書
 (令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位:円)

I 事業収益		
公有地取得事業収益	0	
附帯等事業収益	0	0
II 事業原価		
公有地取得事業原価	0	0
事業総利益		0
III 販売費及び一般管理費		67,086
事業利益		△ 67,086
IV 事業外収益		
受取利息	105	
雑収益	66,981	67,086
V 事業外費用		
その他の雑損		0
経常利益		0
当期純利益		0

5 令和4年度 鬼北土地開発公社
キャッシュ・フロー計算書
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位:円)

I 事業活動によるキャッシュ・フロー	
公有地取得事業及び開発事業用地取得事業収入	0
その他事業収入	0
補助金等収入	101,808
公有地取得事業及び開発事業用地取得事業支出	△ 17,238,603
その他事業支出	
人件費支出	△ 59,835
その他の業務支出	△ 7,251
小計	△ 17,203,881
利息の受取額	105
利息の支払額	0
事業活動によるキャッシュ・フロー	△ 17,203,776
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資活動によるキャッシュ・フロー	0
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	17,238,603
長期借入金の返済による支出	0
町への寄付金	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,238,603
IV 現金及び現金同等物増加額	34,827
V 現金及び現金同等物期首残高	5,077,086
VI 現金及び現金同等物期末残高	5,111,913

注記事項

(重要な会計方針)

(1) 収益及び費用の計上基準・・・収益は実現主義、費用は発生主義に基づき計上しております。

(2) 消費税等の会計処理方法・・・消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。

(現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係)

現金及び預金勘定	5,111,913
預入期間が3か月を超える定額預金	△ 5,000,000
	111,913

6 令和4年度 鬼北土地開発公社 事業報告書

(1) 事業の概要

当公社は、地域の秩序ある整備を図るため、必要な公共用地、公用地等となるべき土地の先行取得及び造成、並びにその管理の業務活動等を、構成団体である町の委託に基づいて行っております。本年度は、南予森林組合跡地取得事業の保有土地に係る維持管理等 101,913 円の事業を実施しました。

(2) 事業計画及び執行状況

本年度の事業計画は、南予森林組合跡地取得事業 26,000 円を計上していました。

一方、予算執行は、南予森林組合跡地取得事業の支払利息 25,819 円となりました。

(3) 財務の状況

本年度の財務の状況は、販売費及び一般管理費 67,086 円を控除した事業利益は△67,086 円、事業外収益 67,086 円を加え、経常利益が 0 円となり、当期純利益も 0 円となりました。

そのほか、運営費補助金は鬼北町 56,509 円、松野町 56,510 円の過徴金が生じましたが、翌年度において精算処理することにしました。

長期借入金の状況は、前年度末残高は 17,212,784 円であり、本年度支払利息 25,819 円を加え、本年度末残高は 17,238,603 円となりました。

なお、借入金利率は、南予森林組合跡地取得事業で 0.15%で借り入れを行いました。

(4) 一般庶務事項

ア 理事会の概要

開 会 日	提 出 案 件	審 議 結 果
令和4年6月6日	議案第1号 令和3年度鬼北土地開発公社 会計決算の承認	議決

イ 監査の実施状況

決算書類の監査実施年月日

令和5年6月1日

ウ 役職員に関する事項

(役員の変動)

異動年月日	異動内容	氏名	登記年月日
令和4年12月20日	理事重任	兵頭 誠亀	令和4年12月26日
令和4年12月20日	理事重任	坂本 浩	令和4年12月26日
令和4年12月20日	理事重任	芝 照雄	令和4年12月26日
令和4年12月20日	理事重任	村尾 重利	令和4年12月26日
令和4年12月20日	理事重任	井上 建司	令和4年12月26日
令和4年12月20日	理事重任	古谷 忠志	令和4年12月26日
令和5年2月24日	理事辞任	村尾 重利	令和5年4月18日
令和5年3月3日	理事就任	加藤 康幸	令和5年4月18日

(役員名簿)

(令和5年3月31日現在)

○ 兵頭 誠亀	○ 坂本 浩	○ 芝 照雄	○ 加藤 康幸
○ 井上 建司	○ 八十島温夫	○ 古谷 忠志	◎ 井上 靖

○理事 ◎監事

(職員数)

(令和5年3月31日現在)

区分	課長	係長	主任	主事補	計	備考
一般職	(1)	(1)			(2)	()は兼務職
臨時職						
計	(1)	(1)			(2)	

7 令和4年度 鬼北土地開発公社

附属明細表

(様式第1号)

現金及び預金明細表

(単位:円)

科 目	種 類	金 額	摘 要
預 金	普 通	85,656	えひめ南農業協同組合鬼北広見支所
		26,252	伊予銀行近永支店
		5	愛媛銀行近永支店
	定 期	3,000,000	えひめ南農業協同組合鬼北広見支所
		2,000,000	伊予銀行近永支店
計		5,111,913	

(様式第2号)

公有用地明細表

(単位: m²・円)

鬼北町

資産区分	期首残高		当期増加高								当期減少高		期末残高		摘要
	面積	金額	面積	用地費	補償費	工事費	測量試験費	諸経費	支払利息	計	面積	金額	面積	金額	
南予森林組合跡地取得事業	4391.00	17,212,784	0.00	0	0	0	0	0	25,819	25,819	0.00	0	4,391.00	17,238,603	令和3年11月26日取得
合計	4,391.00	17,212,784	0.00	0	0	0	0	0	25,819	25,819	0.00	0	4,391.00	17,238,603	

(様式第6号)

特定土地明細表

(単位: m²・円)

鬼北町

資産区分	期首残高		当期増加高								当期減少高			期末残高		摘要
	面積	金額	面積	用地費	補償費	工事費	測量試験費	諸経費	支払利息	計	減少高		評価減	面積	金額	
											面積	金額				
合計																

(様式第 17 号)

長期借入金明細表

(単位:円)

借入先	利率	期首残高	当期増加高	当期減少高	期末残高	備考
愛媛銀行	0.15%	17,212,784	25,819	0	17,238,603	
計		0	25,819	0	17,238,603	

(様式第 18 号)

資本金明細表

(単位:円)

区分	出資団体名	出資額	摘要
基本財産	松野町	1,450,000	
	鬼北町	3,550,000	
計		5,000,000	

(様式第 20 号)

事業収益明細表

(単位:円)

科目	金額	摘要
公有地取得事業収益	0	公有用地売却収益
	0	特定土地売却収益
附帯等事業収益	0	保有土地賃貸等収益 南予森林組合跡地取得事業収益
合計	0	

(様式第 21 号)

事業原価明細表

(単位:円)

科目	金額	摘要
公有地取得事業原価	0	公有用地売却原価
	0	特定土地売却原価
合計	0	

運営費補助金明細表

(単位:円)

町名	対象事業費	割合 (%)	補助金				納入済額(B)	差引 (B)-(A)
			事業費割	均等割	超過補助	計(A)		
松野町	0	0.0%	0	33,490	0	33,490	90,000	56,510
鬼北町	0	0.0%	0	33,491	0	33,491	90,000	56,509
合計	0	0.0%	0	66,981	0	66,981	180,000	113,019

- 1 対象事業費は、土地取得費(除、支払利息)及び売却価格の合計である。
- 2 補助金は、販売費及び一般管理費の支出合計から受取利息を差し引いた金額。 $67,086円 - 105円 = 66,981円$
- 3 均等割 $90,000円 (1町あたり) \times 2 = 180,000円$
- 4 事業費割 0円
- 5 その他 納入済額との差額113,019円は、短期預り金113,019円として処理し、翌年度に精算処理する。

8 令和4年度 鬼北土地開発公社 決算意見書

公有地の拡大の推進に関する法律第18条第3項の規定により、令和4年度鬼北土地開発公社の財産目録、貸借対照表、損益計算書及び事業報告書並びに関係帳簿書類等を審査した結果、その意見を添えて下記のとおり報告します。

記

- 1 審査日 令和5年6月1日
- 2 場所 松野町役場庁舎 1階 会議室
- 3 審査の総括的意見

令和4年度鬼北土地開発公社の決算監査について、鬼北土地開発公社備え付けの関係諸帳簿、証憑書類を逐一照査のうえ、更にその内容について審査したところいずれも適正に処理されていることを認めた。

令和5年6月1日

監事

報告第3号

株式会社まちづくり松野に関する報告について

地方自治法第243条の3第2項の規定により、下記のとおり報告する。

令和5年6月14日提出

松野町長 坂本 浩

記

令和4年度株式会社まちづくり松野事業報告及び決算

株式会社 まちづくり松野

第7期定時株主総会資料

令和5年5月22日(月) 午後5時30分
松野町役場2階会議室

本社住所 松野町大字延野々1510-1番地

～次 第～

1 開会

2 挨拶

3 報告事項 第7期（令和4年度）営業報告の件

4 議案

議案第1号 第7期貸借対照表、損益計算書承認の件

議案第2号 第8期（令和5年度）事業計画(案)の件

議案第3号 第8期（令和5年度）収支計画(案)の件

議案第4号 第8期（令和5年度）営業日、営業時間(案)の件

5 その他

6 閉会

報告事項 第7期（令和4年度）営業報告の件

1. 総括（第7期） [令和4年4月1日～令和5年3月31日]

今年度から毎水曜日の定休日を廃止し 年頭休日を除いて年間364日営業体制となり、前年比較でおさかな館では72日、その他部門では40日増の営業日数でした。

レジ通過客数は151,437名で前比33,172名増、売上実績(税抜)は163,930,463円、予算比13.1増、18,930,463円増。前年比では29.7増、増減で37,584,321円増で推移。

目標である西日本豪雨災害 前年(2017年)対比では▲2.5、増減で▲4,268,524円。

また松野町産米のブランド化を目指して農林振興課、ふるさと創生課と連携し、ネーミング、パッケージの統一化、販売商品の検査、栽培履歴の見える化、価格の統一化を図り、「『まっさら米』新米まつり」を開催いたしました。

イベント初日には愛媛朝日テレビ「なるちか」の生中継を実施、愛媛県下に「まっさら米」をアピール、知名度アップに大いに貢献できました。

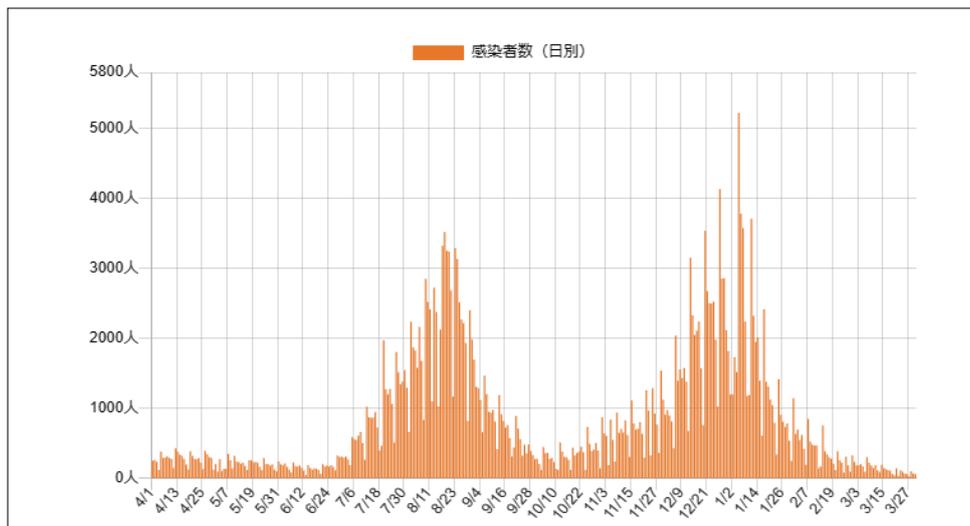
またイベント開催に先駆け、9/1(木)には「かごもり市場」のリニューアルオープン、幅広い顧客層、特に若年、ファミリー層の取り込みを目標に実施いたしました。

3/25(土)には旧イトイン跡に山崎製パンとのタイアップによってパン工房「&ぱん」を新規オープン、売上拡大と顧客づくりによる固定客づくりを目指します。

イベントについては集客、売上拡大、知名度アップを目的に3/25、26の両日、「伊予・土佐の国うまいもん合戦2023」を前年に引き続き実施。今後は春、秋開催を定着化していきたい。

光熱費ほかの経費、諸物価の高騰は今後も一層損益に多大に影響すると予想され、今後も引き続き損益表を注視しながら営業展開を行っていきたい。

〈愛媛県内の新型コロナウイルス感染者状況〉 R4.4～R5.3月



新型コロナウイルス感染状況はお盆を含む夏休み期間、年末年始と大きく感染者数が増加し、売上、集客とも大変苦戦した期間であった。

売上・集客動向

●本年通期累計(4～3月) 売上実績

(単位:円・%・税抜)

	予算	本年実績	前年実績	予比	前年比	前比増減
おさかな館	41,300,000	47,330,415	33,006,564	14.6	43.4	14,323,851
かごもり市場	72,100,000	78,797,023	66,718,300	9.3	18.1	12,078,723
レストラン	11,300,000	15,161,407	9,232,842	34.2	64.2	5,928,565
ガラス工房	14,300,000	14,011,428	11,930,016	▲2.0	17.4	2,081,412
森の国ファーム	6,000,000	7,130,032	5,458,420	18.8	30.6	1,671,612
&ぱん	0	1,500,158	0	#DIV/0!	#DIV/0!	1,500,158
合計	145,000,000	163,930,463	126,346,142	13.1	29.7	37,584,321

通期累計については予算比13.1増、前年対比では29.7増で推移、全部門とも前年実績2桁増を維持してるが 予算についてはガラス工房は▲288,572円で未達成でした。

「&ぱん」については営業日数7日間の実績。(予算は設定なし)

●本年累計(4～3月) レジ通過客数

(単位:名・%)

	目標	本年実績	前年実績	目標比	前年比	前比増減
おさかな館	39,250	44,822	30,044	14.2	49.2	14,778
かごもり市場	67,950	69,181	62,549	1.8	10.6	6,632
レストラン	14,050	19,293	12,627	37.3	52.8	6,666
ガラス工房	7,400	6,529	5,856	▲11.8	▲9.2	▲660
森の国ファーム	7,350	9,833	7,189	33.8	36.8	2,644
&ぱん	0	1,779	0	#DIV/0!	#DIV/0!	1,779
合計	136,000	151,437	118,265	11.4	28.0	33,172

2. 主な業務、行事経過報告

日付	項目
4/20	第1回「道の駅虹の森公園まつの魅力化プロジェクト」社員研修(年間)
5/12	森の国夏祭り第1回実行委員会 (松野町役場)
5/21	令和4年度松野町商工会通常総会 (松野町商工会) 予土線fanfanまつり 出張販売 (JR宇和島駅)
5/23	森の国まつの事業協同組合 第2回通常総会 (松野町役場) ㈱まちづくり 取締役会、株主総会 (松野町役場)
6/6	「松野町産 米販売パッケージ」打合せ会
6/7	食品管理者研修 (宇和島保健所)
6/30	四国地区「道の駅」連絡会 愛媛・高知ブロック会 (高知市)
7/7	奥伊予街道七駅物語事業推進協議会 総会 (西土佐)
7/13	道の駅虹の森公園まつの 出荷部会役員会 道の駅虹の森公園まつの 米部会設立会
7/25	かごもり市場 出荷部会総会 (松野町役場)
7/29	七夕飾りスタート (8/7まで)
8/31	かごもり市場、ガラス工房 リニューアルのため臨時休業
9/1	かごもり市場リニューアルオープン
9/2,3	まっさら米 新米まつり
9/3	愛媛朝日テレビ「なるちか」生中継
11/26	えひめ南予 きずな博 ウィンターイルミネーション2022スタート えひめ・まつやま産業祭 (11/27まで 松山・堀之内公園)
2/6	パン工房 名称選定会
2/13	「インボイス システム」研修会 (道の駅虹の森公園まつの)
2/19	山崎製パン 研修 (品部店長、山中さん 3/3まで 新大坂)
3/13	JAF情報交換会 (東温市)
3/25	パン工房「&ぱん」新規オープン 伊予・土佐の国うまいもん合戦2023 (25、26両日)

3. 集客強化としてのイベント開催

新型コロナウイルス禍の中で感染状況を把握し、感染防止を最優先に考慮しながら当「道の駅」として集客強化について下記のイベントの開催と新規事業の立ち上げを地域性、継続性、出荷者、取引先との連携強化を目的に実施、売上拡大、顧客づくりを目的に知名度アップに繋げていきたい。

●まつの「まっさら米」新米まつり

- ・とき 9/3(土)、4(日) 10時～15時30分
- ・概要 令和4年度産松野町産の新米販売をスタート。
この機会に「まっさら米」と名称を統一、自家需要での販売は勿論のこと、今後はギフト対応の需要にも一層取組む。



●『伊予・土佐の国 うまいもん合戦2023』

- ・とき 3/25(土)、26(日) 10時～15時30分
- ・概要 愛媛、高知県の県境を越えて四万十川流域のうまいもん、特産品を一堂に集めて春いっぱいのお食べくらべ合戦を2日間開催。
特別企画として愛媛の人気「キッチンカー」も参加してのイベントです。
今取組みは「道の駅」全施設あげて取り組み、集客、売上拡大を目的に企画、実施いたします。
イベントによる集客を「&ばん」オープンを勢いをつける。





●パン工房「&ぱん」オープン



●かごもり市場リニュアルオープン (9/1)



以上。

議案第1号 第7期貸借対照表、損益計算書承認の件

第7期決算報告

【貸借対照表】

(令和5年3月31日現在)

株式会社 まちづくり松野

(税抜) (単位：円)

資産の部			負債の部		
	今期	前期		今期	前期
【流動資産】	31,462,373	30,538,487	【流動資産】	16,953,245	13,709,530
現金預金	22,947,233	22,151,534	買掛金		
現金(虹の森)	9,124,314	7,360,997	虹の森	8,219,019	6,154,622
JA普通預金(本社)	258,448	312,447			
JA普通預金(虹の森)	12,664,511	14,036,567	未払金	8,283,804	7,131,403
伊予普通預金(本社)	899,091	432,832	本社	22,018	22,018
伊予普通預金(虹の森)	869	934	虹の森	8,261,786	7,109,385
楽天普通預金(虹の森)	0	7,757	預り商品券	30,000	0
売掛金			預り金	234,326	240,005
虹の森	2,198,766	1,539,141	仮受金	2,596	0
未収入金			未払法人税等	183,500	183,500
虹の森	681,839	728,988	【負債合計】	16,953,245	13,709,530
商品(棚卸)			純資産の部		
虹の森	4,605,356	5,059,081		今期	前期
貯蔵品	905,589	436,574	【株主資本金】	16,459,504	17,313,783
前払費用	139,590	186,120	資本金	80,460,000	80,460,000
立替金	0	449,049	繰越利益剰余金	△ 63,700,496	△ 62,846,217
貸倒引当金	△ 16,000	△ 12,000	自己株式	△ 300,000	△ 300,000
【固定資産】	1,950,376	484,826			
構築物	440,375	474,825			
器具備品	1	1			
出資金	10,000	10,000			
保証金	1,500,000	0			
			純資産合計	16,459,504	17,313,783
【資産合計】	33,412,749	31,023,313	負債・純資産合計	33,412,749	31,023,313

【損益計算書】
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

株式会社 まちづくり松野

(税抜) (単位：円)

	今期		前期	
【純売上高】				
道の駅虹の森公園まつの	164,117,725	164,117,725	125,373,864	125,373,864
【売上原価】				
食材仕入	9,773,663		5,365,223	
その他仕入	86,255,963		71,196,569	
		96,029,626		76,561,792
売上総利益		68,088,099		48,812,072
【販売費・一般管理費】		118,349,536		100,106,629
営業損失		△ 50,261,437		△ 51,294,557
【営業外収益】				
受取利息	249		267	
雑収入	49,627,409	49,627,658	46,005,492	46,005,759
【営業外費用】				
雑損失	36,963	36,963	1,557	1,557
経常損失		△ 670,742		△ 5,290,355
【特別利益】				
前期損益修正益	0		116,888	
受贈益	0		260,120	
債務免除益	0		0	
		0		377,008
【特別損失】				
固定資産除却損	0		0	
		0		0
税引前当期純損失		△ 670,742		△ 4,913,347
【法人税等】		183,537		183,539
当期純損失		△ 854,279		△ 5,096,886

販売費及び一般管理費
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

株式会社 まちづくり松野

(税抜) (単位:円)

科 目	今期	前期
役 員 報 酬	1,900,000	1,000,000
給 料 手 当	43,678,600	42,562,909
法 定 福 利 費	6,516,490	6,406,431
福 利 厚 生 費	2,253,530	2,146,116
広 告 宣 伝 費	2,246,519	544,942
燃 料 費	4,878,629	3,224,090
保 守 点 検 費	2,771,596	2,696,222
旅 費 交 通 費	633,921	702,018
荷 造 運 賃	519,643	76,991
業 務 委 託 費	8,120,770	7,836,980
通 信 費	619,162	648,213
水 道 光 熱 費	30,670,645	21,326,713
消 耗 品 費	6,234,857	4,709,450
修 繕 費	1,060,171	916,860
保 険 料	353,979	215,021
会 議 費	9,937	0
租 税 公 課	132,013	237,090
交 際 接 待 費	332,477	73,519
減 価 償 却 費	463,450	572,104
賃 借 料	1,599,862	1,575,640
支 払 手 数 料	43,182	15,300
諸 会 費	678,800	627,800
新 聞 図 書 費	49,879	26,656
集 客 手 数 料	4,205	24,587
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	4,000	0
雑 費	2,573,219	1,940,977
販売費・一般管理	118,349,536	100,106,629

株式会社まちづくり松野 代表取締役 坂本 浩 殿

監 査 報 告 書

株式会社まちづくり松野第7期の会計並びに業務の監査を実施した結果について
下記のとおり報告します。

記

1 監査方法の概要

令和5年5月19日、株式会社まちづくり松野において、収支決算書の監査のため、役員立会いの下、会計に関する帳簿、書類を閲覧し、帳票類等の照合及び聴取、事業の経過報告の聴取等により調査しました。

2 監査結果

- (1) 貸借対照表、損益計算書の記載内容は、記載すべき事項を正しく記載し、帳票等の載金額と一致し、株式会社まちづくり松野の収支及び資産の状況を正しく示しているものとみとめます
- (2) 業務の執行は適正であり、役員の業務執行に関して不正行為や定款、諸規定に違反する重大な事実は認められません。

令和5年5月19日

監査役

正本久士 

監査役

小西敏文 

議案第 2 号 第 8 期（令和 5 年度）事業計画(案)の件

- ・別紙添付資料参照

議案第 3 号 第 8 期（令和 5 年度）収支計画(案)の件

- ・別紙添付資料参照

議案第 4 号 第 8 期（令和 5 年度）営業日、営業時間(案)の件

- ・別紙添付資料参照

その他

2023.05.15

道の駅 虹の森公園まつの

令和5年度 「道の駅 虹の森公園まつの」 事業計画

① 営業体制の確立

本年度も「営業体制」の基本である部門間、また部門内の「企業」としての一体感ある組織づくりを最重点課題として取り組む。

「道の駅機能」に沿って当施設を訪れる来店客数拡大に向け 今年度は一層、受け入れ体制を整備し、効果的かつ継続的なサービスの向上を図って 結果として売上拡大が図れる営業活動、そのことによって収益の改善ができる営業体制の確立に取り組む。

また同時に「道の駅」を核として観光情報等の発信による松野町の知名度アップの一助となるように当社運営に係る全運営者(従業員、農産物出荷者、取引先の事業者ほか)、および地域一体となった整備の再構築をいたします。

顧客に一番近いところに立ち、地域の顧客は勿論のこと、より広域からの顧客に一層ご支持いただけるよう 商品取り揃え、接客サービスの向上など「地元住民が誇れる道の駅」を目指した各魅力づくりの展開が確立できる運営を図る。

具体的には業務以前の『元気なあいさつの励行』からスタートし、社員間、出荷者、仕入先関係者ほかとの日常業務の中で意思疎通、連携によるコミュニケーションなどの「報告、連絡、相談」を駆使して『元気で風通しのいい組織づくり』の再構築年度とする。

② 店舗運営

「道の駅」としての機能を損なわないよう検証しながら 近隣周辺および四万十川流域などの特産品の取り揃えなどに留意して「松野町」のロケーションを充分意識した商品取り揃え計画を行う。

特に今年度は昨年度末オープンしたパン工房「&ぱん」の新規顧客をあらたな集客として施設の回遊性、滞留時間の延長増大に結び付けるような継続的な「顧客づくり」に一人一人が意識する必要がある。

地元農産物については「道の駅虹の森公園まつの 出荷部会」と協議しながら種類、出荷量とも新鮮・安全野菜等が取り揃えられるように前年売上実績をベースに継続的、安定的な出荷を図るために 各出荷者の売上実績拡大、また新規出荷会員の獲得に努める。

「まっさら米」の販売については年間を通じての特産品として位置づけ、一層販売強化に努める必要がある。

同時に「食の安全、安心」をお客さまの目に見えるものにするため また出荷者の生産意識

の向上を目的に栽培商品の栽培工程から出荷までの栽培経緯を確認できる管理システム・トレーサビリティの登録者数の増加を行い、数値目標をこのシステムを近隣施設との差別化、当駅の「食の安全、安心」に関する優位性を一層アピールできるよう部門長が先頭に立って取り組む。

③ 人材育成とサービスの向上

少人数の中での「少数精鋭」意識を個々人に一層浸透させてあらゆる効率アップに結びつくように努める。

社内での接遇研修等は毎朝礼、OJT(職場内研修)時に社員間の意思疎通と方針の伝達、徹底を確認することは当然であるが、同時に顧客への情報発信、出荷者情報、取引先の商品情報などの共有化も図る。

また必要に応じて社外での各種研修にも積極的に参加し、単に受講だけでなく、内容等を朝礼時等に各従業員で共有し、一層のサービス向上に努める。

特に今GW明けは法的な行動制限もなく、多くの人流が想定されます。わざわざお越しいただきました顧客、出荷者、仕入先関係者に対し「元気なあいさつ」と「気配り」の励行で「サービス地域一番の道の駅」を目指して全従業員のサービスに対する意識を一層高めるべく目標を定める。

④ 当駅イベントの再構築

本年度開催のイベントについても展開内容、宣伝計画、経費の有効費消などを検証しながらより広域からの顧客に対応しうるよう再構築する。

また展開内容については集客増による売上拡大は勿論のこと、マスコミ各社に情報発信し地域のパブリシティとして取り上げていただく企画内容を盛り込むよう努める。

イベント開催時は単に発信部門のみで終わるのではなく、各部門連携によって施設内の回遊性、滞留時間が長くなるよう企画を立案、他の近隣「道の駅」にない特性を生かした「道の駅 虹の森公園まつり」ならではの魅力度をアピールし、プラスワンの売上拡大に努める。

⑤ 施設、設備の見直し

創業以来、本年で26年になる当駅は施設、設備等の点検、補修等の必要性が頻繁に発生するようになりました。そのような箇所を充分留意しながら計画的に取り組めるように長期計画の策定を松野町と連携を取りながら検討。

突発的な案件についてはお客さまにご不便を与えないという判断基準で素早く対応する。
また公園内の樹木、河川敷の美観についても引き続き 計画に基づいた管理を定期的
に実施し、道路利用者、地域住民に対して安心な憩いの場、季節を感じる公園として継続的な整備、管理を松野町役場と連携を取りながら実施していく。
先ずはコストのかからない『日々の整理整頓から』を合言葉に全従業員が意識し、顧客に対し道の駅としての「快適な休憩環境、ショッピング環境」を提供するよう努める。

⑥ 経費の有効費消

包装資材、施設管理費、宣伝費等の経費は会社組織として一元管理を実施し、消耗品などは品質を落とさず、購入先、単価などを検討して購入、また月ごとの整理整頓、在庫管理の励行によりロスをなくし、社員全員のコスト意識を高める。

特に買取商品管理についてもきめ細かな在庫管理の把握、安易な値引き、賞味期限、消費期限等の一層の意識により日々の商品チェックを引き続き実施して 商品ロスが収益に影響するという意識を全社員で共有する。

照明器具等の点灯についても営業時間外は最小限点灯の徹底励行で光熱費の増大にブレーキを掛けるよう 社員個人個人の意識改革を行う。

宣伝費については半期、年間で計画立案。営業計数(売上高、客数など)と照らし合せた検証を行い、次年度取り組みの判断基準とする。またマスコミ各社の取材対応については取材内容のクオリティも含めて丁寧で最善の対応で取り組む。

経費のかからない媒体としてのHP、ブログ、FB、インスタ等については引き続き、当駅情報のみならず 地域のタイムリーな情報発信など松野町協力隊のお力等もお借りしながら従業員一人一人が意識を高め、地域の固定客づくりに努める。

また月々の事業損益の基となる「月別事業損益表」の前年実績を意識しながら計画的な経費の有効費消に努めて計数に基づいた損益の追求を行う。

⑦ 近隣施設との連携

奥伊予街道七駅物語事業推進協議会については愛媛県、高知県の近隣道の駅 8 駅の連携事業として取り組み。地域連携イベントの核として取り組む。

また積極的に四国西南部の各市町観光協会、各宿泊施設、レジャー施設等の観光リーフレットを収集、集積し、県境に近い「道の駅」としての回遊性と地域の魅力発信、来店顧客へのサービスを目的に観光情報発信に努める。

⑧ 衛生管理の徹底

パン新規事業スタートにあたり、大手パン製造メーカーである「山崎製パン株式会社」とのタイアップにより衛生管理の指導を単に「&ぱん」部門のみならず 全部門で衛生管理意識の徹底に取り組むスタートにしていきたい。

厨房、ストック場等の整理、整頓に努め、定期的な清掃を実施。特に「ネズミ駆除」、「ゴキブリ駆除」、「鳩、ツバメ等のフン対策」をこまめに実施し、衛生的、かつ清潔な職場、ショッピング環境に努める。

建物内の整理整頓、清掃は勿論であるが屋外施設についても単に担当者のみならず、気がついた方が率先して片づけるような風土の醸成を創り上げ、まさに訪れた方々、道路利用者の方々の休憩施設として「道の駅機能」に則った施設となるように継続的に顧客が感じる取組みが必要である。

⑨ その他

今年度 10 月 1 日にインボイス制度開始にあたって出荷者、取引先各社とスムーズな運営施行ができるように密なコミュニケーションができるように準備する。

対応については関係先(税理士事務所、システム会社、近隣道の駅ほか)からの情報を収集し、取組みの意思決定を早期に行う室用がある。

慢性的な人手不足の対応を普段から注視し あらゆるネットワークを駆使し 対応の準備を普段から行う必要となってきた。

新規オープンのパン工房「&ぱん」については年間を通じてあらゆる面での検証を行い、継続して売上、顧客づくりの柱となるべく位置づけとなるように進めていく。

また他部門についてはその顧客を自分の担当部門に回遊、売上に繋がるためにはと問題意識を常に持つようにして顧客特性、動向をリサーチする努力も必要である。

以上。

道の駅虹の森公園まつの 令和5年度収支計画

(税抜) (単位：千円)

科目		今年度予算額	備考
売上高	合計	205,000	
原 価		114,450	
粗利益		90,550	
	原価率	55.8%	
	給与手当	34,200	
	臨時労務費 (パート他)	19,000	
	役員報酬	2,380	
	法定福利費	7,150	
	福利厚生費	660	
	中退共	2,110	
	人件費小計	65,500	
	包装資材費	840	
	旅費交通費	700	
	会議費	120	
	接待交際費	210	
	宣伝広告費	1,650	
	通信費	600	
	印刷消耗品費	300	
	図書研修費	120	
	業務委託費	7,100	ガラス工房、農林公社委託料
	租税公課	120	
	支払割賦金・支払手数料	40	
	分担金	550	
	保守修繕費	960	
	保険料	380	
	水道光熱費	31,500	
	賃借料	1,700	
	消耗備品費	3,370	
	車両費	610	
	施設管理費	9,660	
	減価償却費	400	
	雑費	2,900	
	雑損失	60	
	経費合計	129,390	
	営業利益	▲ 38,840	
	指定管理料	35,700	農業公園施設指定管理料含む
	雑収入	4,140	
	当期利益	1,000	

令和5年度各部門予算表

(単位:円・%, 税抜き)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	通期計	
かごもり市場	予算	6,000,000	6,600,000	7,700,000	14,700,000	7,000,000	6,000,000	48,000,000	6,200,000	6,200,000	5,500,000	4,400,000	4,200,000	5,500,000	32,000,000	80,000,000	
	本年実績	5,598,474						5,598,474							0	5,598,474	
	前年実績	5,767,812	6,481,734	7,957,949	15,448,996	6,844,982	5,687,690	48,189,163	5,876,345	5,848,675	5,307,160	4,089,634	4,105,797	5,380,249	30,607,860	78,797,023	
	予算比	▲ 6.7	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 88.3	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 93.0
	予算増減	▲ 401,526	▲ 6,600,000	▲ 7,700,000	▲ 14,700,000	▲ 7,000,000	▲ 6,000,000	▲ 42,401,526	▲ 6,200,000	▲ 6,200,000	▲ 5,500,000	▲ 4,400,000	▲ 4,200,000	▲ 5,500,000	▲ 32,000,000	▲ 74,401,526	
	前年比	▲ 2.9	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 88.4	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 92.9
	前年比増減	▲ 169,338	▲ 6,481,734	▲ 7,957,949	▲ 15,448,996	▲ 6,844,982	▲ 5,687,690	▲ 42,590,689	▲ 5,876,345	▲ 5,848,675	▲ 5,307,160	▲ 4,089,634	▲ 4,105,797	▲ 5,380,249	▲ 30,607,860	▲ 73,198,549	
おさかな館	予算	3,500,000	7,300,000	2,700,000	4,800,000	9,700,000	3,500,000	31,500,000	3,900,000	3,200,000	3,000,000	2,800,000	2,000,000	3,100,000	18,000,000	49,500,000	
	本年実績	3,762,179						3,762,179							0	3,762,179	
	前年実績	3,413,106	7,053,605	2,591,775	4,630,463	9,490,042	3,346,949	30,525,940	3,711,365	3,036,554	2,277,491	2,786,002	1,931,135	3,061,928	16,804,475	47,330,415	
	予算比	7.5	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 88.1	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 92.4
	予算増減	262,179	▲ 7,300,000	▲ 2,700,000	▲ 4,800,000	▲ 9,700,000	▲ 3,500,000	▲ 27,737,821	▲ 3,900,000	▲ 3,200,000	▲ 3,000,000	▲ 2,800,000	▲ 2,000,000	▲ 3,100,000	▲ 18,000,000	▲ 45,737,821	
	前年比	10.2	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 87.7	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 92.1
	前年比増減	349,073	▲ 7,053,605	▲ 2,591,775	▲ 4,630,463	▲ 9,490,042	▲ 3,346,949	▲ 26,763,761	▲ 3,711,365	▲ 3,036,554	▲ 2,277,491	▲ 2,786,002	▲ 1,931,135	▲ 3,061,928	▲ 16,804,475	▲ 43,568,236	
レストラン	予算	1,600,000	1,700,000	1,100,000	1,300,000	2,600,000	1,200,000	9,500,000	1,500,000	1,400,000	1,200,000	1,000,000	800,000	1,600,000	7,500,000	17,000,000	
	本年実績	1,705,812						1,705,812							0	1,705,812	
	前年実績	944,696	1,456,364	1,060,557	1,184,467	2,418,191	1,115,347	8,179,622	1,314,903	1,323,397	1,086,449	980,898	728,429	1,547,709	6,981,785	15,161,407	
	予算比	6.6	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 82.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 90.0
	予算増減	105,812	▲ 1,700,000	▲ 1,100,000	▲ 1,300,000	▲ 2,600,000	▲ 1,200,000	▲ 7,794,188	▲ 1,500,000	▲ 1,400,000	▲ 1,200,000	▲ 1,000,000	▲ 800,000	▲ 1,600,000	▲ 7,500,000	▲ 15,294,188	
	前年比	80.6	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 79.1	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 88.7
	前年比増減	761,116	▲ 1,456,364	▲ 1,060,557	▲ 1,184,467	▲ 2,418,191	▲ 1,115,347	▲ 6,473,810	▲ 1,314,903	▲ 1,323,397	▲ 1,086,449	▲ 980,898	▲ 728,429	▲ 1,547,709	▲ 6,981,785	▲ 13,455,595	
森の国ファーム	予算	600,000	900,000	500,000	750,000	1,200,000	500,000	4,450,000	800,000	650,000	300,000	350,000	300,000	750,000	3,150,000	7,600,000	
	本年実績	589,333						589,333							0	589,333	
	前年実績	592,397	879,846	440,122	691,154	1,108,912	489,860	4,202,291	690,323	611,223	280,712	349,891	290,108	705,484	2,927,741	7,130,032	
	予算比	▲ 1.8	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 86.8	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 92.2
	予算増減	▲ 10,667	▲ 900,000	▲ 500,000	▲ 750,000	▲ 1,200,000	▲ 500,000	▲ 3,860,667	▲ 800,000	▲ 650,000	▲ 300,000	▲ 350,000	▲ 300,000	▲ 750,000	▲ 3,150,000	▲ 7,010,667	
	前年比	▲ 0.5	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 86.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 91.7
	前年比増減	▲ 3,064	▲ 879,846	▲ 440,122	▲ 691,154	▲ 1,108,912	▲ 489,860	▲ 3,612,958	▲ 690,323	▲ 611,223	▲ 280,712	▲ 349,891	▲ 290,108	▲ 705,484	▲ 2,927,741	▲ 6,540,699	
ガラス工房	予算	1,200,000	1,800,000	1,100,000	1,500,000	2,700,000	1,000,000	9,300,000	1,100,000	1,500,000	900,000	900,000	900,000	1,300,000	6,600,000	15,900,000	
	本年実績	1,291,338						1,291,338							0	1,291,338	
	前年実績	1,025,895	1,592,748	972,805	1,262,848	2,540,958	835,975	8,231,229	1,032,740	1,083,737	770,713	809,698	896,001	1,187,310	5,780,199	14,011,428	
	予算比	7.6	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 86.1	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 91.9
	予算増減	91,338	▲ 1,800,000	▲ 1,100,000	▲ 1,500,000	▲ 2,700,000	▲ 1,000,000	▲ 8,008,662	▲ 1,100,000	▲ 1,500,000	▲ 900,000	▲ 900,000	▲ 900,000	▲ 1,300,000	▲ 6,600,000	▲ 14,608,662	
	前年比	25.9	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 84.3	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 90.8
	前年比増減	265,443	▲ 1,592,748	▲ 972,805	▲ 1,262,848	▲ 2,540,958	▲ 835,975	▲ 6,939,891	▲ 1,032,740	▲ 1,083,737	▲ 770,713	▲ 809,698	▲ 896,001	▲ 1,187,310	▲ 5,780,199	▲ 12,720,090	
既存店舗小計	予算	12,900,000	18,300,000	13,100,000	23,050,000	23,200,000	12,200,000	102,750,000	13,500,000	12,950,000	10,900,000	9,450,000	8,200,000	12,250,000	67,250,000	170,000,000	
	本年実績	12,947,136	0	0	0	0	0	12,947,136	0	0	0	0	0	0	0	12,947,136	
	前年実績	11,743,906	17,464,297	13,023,208	23,217,928	22,403,085	11,475,821	99,328,245	12,625,676	11,903,586	9,722,525	9,016,123	7,951,470	11,882,680	63,102,060	162,430,305	
	予算比	0.4	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 87.4	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 92.4
	予算増減	47,136	▲ 18,300,000	▲ 13,100,000	▲ 23,050,000	▲ 23,200,000	▲ 12,200,000	▲ 89,802,864	▲ 13,500,000	▲ 12,950,000	▲ 10,900,000	▲ 9,450,000	▲ 8,200,000	▲ 12,250,000	▲ 67,250,000	▲ 157,052,864	
	前年比	10.2	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 87.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 92.0
	前年比増減	1,203,230	▲ 17,464,297	▲ 13,023,208	▲ 23,217,928	▲ 22,403,085	▲ 11,475,821	▲ 86,381,109	▲ 12,625,676	▲ 11,903,586	▲ 9,722,525	▲ 9,016,123	▲ 7,951,470	▲ 11,882,680	▲ 63,102,060	▲ 149,483,169	
&ぱん	予算	3,500,000	3,500,000	2,500,000	3,500,000	3,500,000	3,000,000	19,500,000	3,250,000	3,250,000	2,500,000	2,000,000	2,000,000	2,500,000	15,500,000	35,000,000	
	本年実績	5,815,288						5,815,288							0	5,815,288	
	前年実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,500,158	1,500,158	1,500,158	
	予算比	66.2	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 70.2	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 83.4
	予算増減	2,315,288	▲ 3,500,000	▲ 2,500,000	▲ 3,500,000	▲ 3,500,000	▲ 3,000,000	▲ 13,684,712	▲ 3,250,000	▲ 3,250,000	▲ 2,500,000	▲ 2,000,000	▲ 2,000,000	▲ 2,500,000	▲ 15,500,000	▲ 29,184,712	
	前年比	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	▲ 100.0	▲ 100.0	287.6
	前年比増減	5,815,288	0	0	0	0	0	5,815,288	0	0	0	0	0	▲ 1,500,158	▲ 1,500,158	4,315,130	
合計	予算	16,400,000	21,800,000	15,600,000	26,550,000	26,700,000	15,200,000	122,250,000	16,750,000	16,200,000	13,400,000	11,450,000	10,200,000	14,750,000	82,750,000	205,000,000	
	本年実績	18,762,424						18,762,424							0	18,762,424	
	前年実績	11,743,906	17,464,297	13,023,208	23,217,928	22,403,085	11,475,821	99,328,245	12,625,676	11,903,586	9,722,525	9,016,123	7,951,470	13,382,838	64,602,218	163,930,463	
	予算比	14.4	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 84.7	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 90.8
	予算増減	2,362,424	▲ 21,800,000	▲ 15,600,000	▲ 26,550,000	▲ 26,700,000	▲ 15,200,000	▲ 103,487,576	▲ 16,750,000	▲ 16,200,000	▲ 13,400,000	▲ 11,450,000	▲ 10,200,000	▲ 14,750,000	▲ 82,750,000	▲ 186,237,576	
	前年比	59.8	▲ 100.0	▲ 100.0	▲												

報告第4号

株式会社松野町農林公社に関する報告について

地方自治法第243条の3第2項の規定により、下記のとおり報告する。

令和5年6月14日提出

松野町長 坂本 浩

記

令和4年度株式会社松野町農林公社事業報告及び決算

株式会社 松 野 町 農 林 公 社

定時株主総会資料

令和 5 年 5 月 23 日 午前 9 時 00 分

松野町総合営農指導拠点施設

本店住所 松野町大字吉野 1 6 5 番地

(0 8 9 5 - 4 2 - 0 3 4 4)

次 第

1. 開 会

2. 挨 拶

3. 報告事項

第 25 期（令和 4 年度）営業報告の件

4. 決議事項

第 1 号議案 第 25 期貸借対照表、損益計算書及び損益金処理案承認の件

第 2 号議案 取締役選任の件

第 3 号議案 取締役報酬決定の件

第 4 号議案 監査役選任の件

第 5 号議案 監査役報酬決定の件

第 6 号議案 森の国まきステーションへの出資の件

5. 協議事項

第 26 期（令和 5 年度）事業計画、収支計画の件

6. 閉 会

報告事項

営業報告

第1 一般的事項

1. 総括（第25期）[令和4年4月1日より令和5年3月31日]

今年度は温暖な春が結実を促し、梅や桃、ブルーベリー等の収量が増加している。夏から秋にかけては台風や長雨による大きな被害もなく、初冬に一時的に気温が低かったものの、暖冬傾向だったこともあり燃料の使用量は少なかった。また4か所のイベントに参加しており、コロナの影響も少なくなっていることが実感される。

業務は松野町より委託を受けた各施設の管理運営に努めながら、育苗事業、青果事業、梅事業、アグリレスキュー事業、研修事業に取り組んでいる。

令和4年度（第25期）松野町農林公社決算では、収入総額 141,771 千円、支出総額 140,777 千円となり、994 千円の純利益を出した。

梅の取扱量が大幅に増えたことや商品単価を改定したことにより売上額が970万円ほど増加しているが、梅事業の材料費や人件費が大きく増加、さらに外的要因により燃料代や肥料費、運搬費等々の諸経費も増加している。また花粉精製機や研修ハウスを補助金により設置しており1,118万円の固定資産圧縮損を計上している。

2. 主な業務、行事の経過報告

月	日	業務・行事	月	日	業務・行事
4	1	研修生受入（岡部祐亮）	10	5	花粉精製機入札
	21	ダイキ秋苗商談		14	育苗棟入口修理
	29	研修キュウリ出荷開始 ～7/16	11	2	さくらひめ講習会
5	5	キウイ花粉受入開始 ～5/16		8	丸ハウス メタルベンチ設置
	9	ファームトマト撤去 7/22 収穫		16	タキイ農場見学会
	24	定時株主総会		24	臨時株主総会
6	4	梅加工場梅受入開始 ～7/14		30	立仙種苗店商談
	7	タキイ種苗来社	12	19	梅役員会
	13	トマト撤去 8/24 収穫開始		26	立仙種苗店商談
	14	さくらひめ撤去	1	10	防除システム説明会
	22	ブルーベリー出荷開始 ～8/10		13	定年退職（山下喜代）
7	4	松野中職場体験 ～8日		24	農業用廃プラ処理
	11	安全衛生推進者講習会	2	14	丸ハウス 天窓修理
8	1	立仙種苗店ナス苗 出荷開始		17	農作業受託事業連絡協議会総会
	4	研修生視察（佐賀）		22	消防立入検査
	26	JA 高知三崎キュウリ苗 出荷開始	3	31	棚卸
9	24	研修キュウリ出荷開始			
	30	棚卸			

第2 事業状況

1. 育苗事業

良質苗の提供により大口顧客の注文を維持することで売上を確保している。育苗事業全体での売上額は 45,373 千円となった。常勤パートが 1 名定年退職となったため募集はしているものの条件に合う者が見つからないため季節パートで対応している。

出荷販売実績

	野菜苗		花苗	
	金額	数量	金額	数量
4年	27,611 千円	198 千本	17,762 千円	259 千本
3年	26,909 千円	201 千本	18,662 千円	309 千本
2年	23,210 千円	189 千本	16,636 千円	267 千本

(1) 野菜苗生産

松川種苗店の立仙種苗店分のナス苗について 64,600 本の大口注文を頂いている。農家都合により 6,500 本 85 万円の減少となっているが、来期は増加の依頼を受けている。農家の希望で種はホルモン剤処理が不要な PC 系（自家受粉）に順次切り替えており、来期ではほぼ PC 系となる。それに伴い種苗費が増加（1 粒 20 円ほど）している。また今後の取引は立仙種苗店と直接取引となる。JA 高知県三崎支所のキュウリ苗について 19,000 本の注文を頂いている。苗の品質を評価して頂いて 6,800 本 120 万円の増加注文となっている。西土佐支所の米ナス苗についても 2,000 本 80 万円の増加注文をいただいている。JA えひめ南についてはキュウリ苗を中心に 40 万円の増加となっている。野菜苗の売上額は 27,611 千円となっている。

野菜苗占有率上位

取引先	金額	数量	占有率	前年比較	備考
松川種苗店	10,984 千円	90 千本	39.8%	△1,009 千円	立仙種苗店含
JA 高知県	4,574 千円	23 千本	16.6%	1,832 千円	三崎、西土佐
JA えひめ南	3,769 千円	24 千本	13.7%	363 千円	鬼北、三間
公社直売	2,884 千円	22 千本	10.4%	437 千円	育苗施設直売

(2) 花苗生産

DCM ダイキへの出荷は計画納品となっており、現場の状態により若干の変更には対応するものの、ほぼ計画どおりの出荷となっている。R4 年春夏シーズンは 3 月から 6 月に 55,360 本、秋冬シーズンは 9 月から 12 月に 65,184 本を出荷している。出荷計画については前年実績を維持できるように商談している。土佐花き園芸市場を通じたマックスバリュ西日本(株)(マルナカ)について、春出荷分は 18,000 本を維持しているが、秋出荷分が 1,200 本に 7 割減となっている。継続注文の声を頂いているものの出荷量は播種時期にならないと分からないという問題がある。各直売所については店舗によって増減が異なっている。花苗の売上額は 17,762 千円となっている。

DCM ダイキ出荷実績

	金額	出荷数	占有率
4年	9,127千円	113千本	51.4%
3年	8,950千円	149千本	48.0%
2年	9,007千円	150千本	54.1%

さくらひめ（一番花：1～3月、二番花：4～6月）は2棟のハウスを4つのエリアに分割して栽培しており、8月に播種、圃場整備の後、10月から（A棟3,000本、B棟2,600本）順次定植を行っている。今期定植分からはB棟だけでの栽培としている。

二番花は一番花の生長ムラの所為で出荷品質に足るものが少なくなった。1棟栽培となった一番花については、燃料費抑制のために下げていた設定温度をもとに戻したものの、水の管理に問題があり再度成長ムラを出すこととなった。イベントの再会で需要が増えたこともあり市場単価は良くなっているが生産量が減ったことで売上は899千円となっている。

土壌改良のため閑散期にソルゴーを播種している。売上確保のため同様の効果のあるアスターを播種し切り花として販売するが管理に手間がかかる割にほぼ売上に繋がらなかった。今後はソルゴーに戻す予定である。

さくらひめの栽培は7年目となる。当初の予定より収益性が低く、野菜苗の増産とも重なり負担が勝ってきている。県からの依頼で生産を開始しているが、ここ数年で栽培の継続を判断する必要がある。

さくらひめ出荷状況

	播種年	市場	直売所他	金額
4年	4年 一番花	276千円 @217.0円	203千円	899千円
	3年 二番花	214千円 @115.0円	204千円	
3年	3年 一番花	253千円 @195.0円	492千円	1,398千円
	2年 二番花	416千円 @80.0円	235千円	
2年	2年 一番花	318千円 @150.0円	440千円	1,524千円
	1年 二番花	409千円 @51.3円	357千円	

2. 青果事業

トマト栽培は農林公社のA棟、B棟と森の国ファームの3棟で行っている。

公社のトマト栽培は昨年定植分を6月13日から随時撤去し、今期定植分は8月24日より出荷を開始している。温暖な気候と屋根の張り替えや清掃による光合成の促進により収量は増加傾向にある。大玉トマトを生産しているA棟では12月頃から黄化葉巻病が発生し200本ほどを段階的に植え替えている。病害対策は行っているが昨年頃から黄化葉巻病の原因となるコナジラミが目立ち始めており、農薬に耐性ができた可能性も考えられ、次回定植時には対策が必要である。A棟の収量は16.1tとなっている。高糖度（フルティカ）とミニトマトを生産しているB棟では11月に養液装置が故障し、仮ポンプの設置で対応をとっている。栽培レーンの防水シートを変更することで着色を改善し、防虫ネットの交換や循環扇の増設を行ったことで

B棟の収量は4.5tとなっている。

ファームのトマト栽培は昨年定植分をGW明けの5月9日に撤去、夏休みが始まる7月22日から収穫を開始している。ファームについてはもぎとり体験向けに大玉トマトをアイコやイエローアイコに切り替えているため収量は3.7tに減っている。

トマトの売上額はファーム生産分を含め、15,858千円となっている。

トマト出荷状況

	A棟(10a)	B棟(6a)	ファーム(4.6a)	合計	金額
4年	16,114kg	4,502kg	3,774kg	24,390kg	15,858千円
3年	15,854kg	3,999kg	4,425kg	24,278kg	15,217千円
2年	15,857kg	3,897kg	4,884kg	24,638kg	14,952千円

ブルーベリー栽培について、十分な寒さから温暖な春を迎えたことにより収穫量は1,344kgとなった。かごもり市場での売れ行きが悪かったため市場への出荷を増やしている。市場経由でサニーマートからの注文もあり、単価も維持できたため1,630千円の販売額となった。

ブルーベリー出荷状況

	出荷量	金額	収穫期間
4年	1,334.0kg	1,630千円	6/22～8/10
3年	800.0kg	1,010千円	6/17～8/12
2年	643.6kg	1,125千円	6/3～8/20

キウイの花粉事業について、3戸の花粉農家から50kgの花蕾を受け入れ226gの花粉を精製した。凍害により花蕾の受入量は予定の半分となっている。精製された花粉は受粉時期まで冷凍保管し、全農を通じて無料サンプルとしてキウイ生産農家に配布を行う予定である。3月に花粉精製機を2台設置している。吸引力の強化、乾燥機のトレイから直接吸引できるノズルを設置する等の改善が加えられている。

花粉出荷状況

	受入量	受入金額	精製量	販売金額	受入期間
4年	50.0kg	—	226g	—	5/5～5/10

R5 4/6 現在 県内4か所のJAを通じてキウイ生産農家へ花粉のサンプルを配布している。

3. 梅事業

今年は温暖で花粉媒介者が活発に動いたこと、4月に霜が降りず受粉した小さな実で冷害がなかったこと、ハチ箱を設置したこと等々、把握しきれない条件が重なり完熟梅の受入量は75.9tと例年の2倍となった。青梅については旭酒造用に100kgを受け入れている。

果実については農家によって消毒回数が少なく格外となるものが多かった。また梅雨が短か

ったことや収穫時期に連日 30℃を超えたことにより実が炊けたような状態のものが多く、A 級率 40.7%、格別品 41.7%と二極化している。

受入量が倍増したことで生産した一次加工梅は 4,032 樽（前年 2,127 樽）となった。在庫過多となっている和歌山の 2 社は出荷数を増やすことが難しく、関東の㈱大利根漬と関連会社に 3,000 樽を出荷することで話は決まっていたところ、1 月に入り、大利根漬から関連会社分の引き取りが難しい旨の連絡があり、急遽販売先の選定が必要となった。そこで新規顧客として和歌山の紀の誉食品㈱に 1,500 樽を出荷することとなった。年明けの商談となったため、各サイズ等級とも 1～2 割ほどの値下げ交渉となったが、全量出荷を行うために苦渋の決断を行った。買取価格は 120 万円ほどの減額となっている。

それぞれの出荷状況は大利根漬に 1,394 樽 6,208 千円、紀の誉食品に 1,524 樽 5,164 千円、南紀梅干に 715 樽 3,633 千円、東乃匠に 150 樽 876 千円、玉井民友商店に 87 樽 556 千円、菓子工房 KAZU に 42 樽 264 千円、守谷漬物は希望するサイズがなかったため取引はなかった。

一次加工梅の販売調整はフードコーディネーターの鎌田氏に業務委託している。それぞれの出荷額は一次加工梅 16,703 千円、冷凍梅 177 千円、青梅 76 千円となっている。

農家への買取額は年内の交渉額で精算を行っている。A 級 200～80 円、B 級 150～50 円、格別 50 円と一次加工梅の買取価格にならって値下げしたことにより 8,848 千円となった。

梅加工場扱い実績

	受入量	受入金額	加工梅出荷量	加工梅出荷金額
4 年	76.0t	8,890 千円	39.1t	16,703 千円
3 年	39.0t	4,827 千円	20.9t	10,089 千円
2 年	31.9t	4,663 千円	16.2t	10,298 千円

76t の受け入れとなった今期は、年度内に処理を終わらせるためにパートを大幅増員して対応している。受入期間中は 5t を超えた日もあり男手の増員が必須である。実質立替となる農家への支払いについても 800 万円ほど当座貸越しており負担は大きい。さらに 2～3 月に行う予定の自社梅園の整備が行えず病害が発生している。公社としては 50t の受け入れを目標に自社園地の整備も行ってきており、今年は想定外と考えたい。

4. アグリレスキュー事業

農家支援の目的で農作業受託を行っている。農作業依頼数 557 件 11,071 千円となっている。

草刈作業は他の作業により依頼に対応できないことがあり 10 万円減となっている。その時期にやるべき作業を優先しているので依頼者には理解を求めている。水稻作業は田植え、稲刈りともに依頼数が増加し作業売上は 56 万円増となっている。今期より稲刈りはコンバイン 2 台体制となっており、自家配送する依頼者には操縦者 1 人での対応も可能で、天候にも恵まれたこともあり順調に作業を行うことができた。担当者からはゆとりを持って作業にあたれたとの声が出ている。桃作業は 2 戸の農家から袋掛けの依頼が増加し 23 万円増となっている。記録的な豊作となった梅作業は収穫作業が 4 倍増、消毒についても倍増しており 53 万円増とな

っている。柚子作業は、収量が少なかったことと、開花時期が消毒時期に重なったため、消毒を控える者が増え 43 万円減となっている。その他作業として柚子園の開墾整備があり 105 万円増となっている。

果樹剪定等に使用する自走式粉砕機（チップパー）の不具合により作業が停滞している。過酷な使用状況で 2 月にエンジンをオーバーホールしたばかりだが、トランスミッションも破損し正常走行できない状態にある。果樹系の整備には必須であり更新の時期となっている。田植機についても車輪交換等のフルメンテナンスを行っている。導入から 10 年経過しており更新の時期となっている。

		件数	時間依頼	面積依頼	作業賃金	日数
草刈作業	4年	117件	828.5h	1,456.0a	1,444千円	81日
	3年	127件	925.5h	1,879.0a	1,548千円	104日
	2年	126件	978.0h	1,884.0a	1,622千円	94日
水稲作業	4年	90件	12.0h	2,916.0a	4,249千円	46日
	3年	82件	7.0h	2,837.0a	3,735千円	44日
	2年	98件	13.0h	4,503.0a	4,506千円	55日
桃作業	4年	51件	934.5h	798.0a	1,081千円	60日
	3年	49件	799.0h	860.0a	856千円	63日
	2年	36件	803.0h	850.0a	834千円	43日
梅作業	4年	192件	1,059.0h	5,037.0a	1,276千円	93日
	3年	84件	634.5h	2,135.0a	743千円	83日
	2年	120件	737.5h	2,735.0a	937千円	77日
柚子作業	4年	54件	751.0h	1,536.0a	1,034千円	48日
	3年	84件	1,177.5h	2,283.0a	1,466千円	80日
	2年	69件	1,372.0h	1,820.0a	1,622千円	65日
その他農作業	4年	53件	808.5h	489.0a	1,984千円	74日
	3年	55件	305.5h	588.0a	932千円	68日
	2年	52件	470.5h	742.0a	763千円	77日

増加する依頼に対応するため担当者は責任感で作業を行っている。農繁期にはレスキュー隊員も忙しく、無理のない勤務スケジュールを実現するためには社員の増員が必要である。

5. 研修事業

4月より研修生（岡部祐亮）1名を受け入れ、研修用ハウスでの年2回のキュウリ栽培を中心に研修を行っている。半促成栽培は3/16に定植、4/27に出荷を開始し7/15まで収穫を行ない2.6t 769千円の売上、抑制栽培は8/23に定植、9/20に出荷を開始し12/10まで収穫を行ない1.9t 699千円の売上となっている。1年目については共に作業を行いつつ指導をしており、JAと鬼北農業指導班の岡本担当係長にも協力を頂いている。研修生の希望もあり、キュウリの閑散期を利用した作物としてサツマイモを300本定植しており509kgの収穫となっている。収穫したサツマイモは商品開発の材料として使用しており、鬼北農業指導班から紹介頂いた、えひめ活き生きファーマーズ(株)に指導を頂いている。また県が主催する6次化セミナー等にも参加させている。

研修生の募集活動としてえひめ農林漁業振興機構が開催する就業相談会への参加とネットを活用した募集活動を行っているが反応はない。

11月に機械施設設備事業として、研修生増員に対応するため研修用ハウスを増設している。3月の定植までに灌水設備を設置している。

JA 出荷状況

	半促成栽培	抑制栽培	備考
4年	2,673kg 769千円	1,905kg 699千円	かごもり 出荷なし
3年	2,001kg 530千円	1,633kg 478千円	かごもり 11千円
2年	—	1,025kg 332千円	かごもり 170千円

榎松野町農林公社人員一覧

(1) 役員

令和5年5月1日現在

役職名	氏名	備考	役職名	氏名	備考
代表取締役	坂本 浩	非常勤	監査役	毛利 達晴	
取締役	岡 正司	使用人兼務	〃	岡村 俊男	
〃	河野 祐一	使用人兼務			
〃	松本 優	使用人兼務			
〃	金谷 一	非常勤			

(2) 社員、常勤パート従業員

	氏名	年齢	保険等加入状況			備考
			健康保険	厚生年金	雇用保険	
社員 9名	岡 正司	53	○	○	○	
	河野 祐一	46	○	○	○	
	松本 優	39	○	○	○	
	入船 信	57	○	○	○	
	宇都宮俊之	49	○	○	○	
	役 和久	49	○	○	○	
	高橋 生司	36	○	○	○	
	竹内 有人	48	○	○	○	
	岡本 新也	40	○	○	○	
育苗パート 3名	松下 貴恵	53	○	○	○	
	中平あけみ	64	○	○	○	
	高田真吏奈	24	○	○	○	
青果パート 3名	平田真由美	63	○	○	○	
	本岡 清香	43	○	○	○	
	豊永貴美代	65			○	半日

(3) 季節パート (令和4年度実績)

育苗事業 4名、梅事業 6名、アグリレスキュー事業 6名

決議事項

第1号議案 第25期貸借対照表、損益計算書及び損益金処理案承認の件

9頁、決算報告書参照

第2号議案 取締役選任の件（1年目／任期2年）

坂本 浩（再任）
入船 功（新任）
岡 正司（再任 兼務役員）
河野 祐一（再任 兼務役員）
松本 優（再任 兼務役員）

第3号議案 取締役報酬決定の件

（現行）取締役の報酬総額を3万円以内とする。

	報酬（現行）	報酬（新）
代表取締役	無報酬	無報酬
取締役（兼務役員）	無報酬	無報酬
取締役（兼務役員）	無報酬	無報酬
取締役（兼務役員）	無報酬	無報酬
取締役	30,000円	30,000円

第4号議案 監査役選任の件（1年目／任期4年）

岡村 俊男（再任）
橋田 忠弘（新任）

第5号議案 監査役報酬決定の件

（現行）監査役の報酬総額を6万円以内とする。

	報酬（現行）	報酬（新）
監査役	30,000円	30,000円
監査役	30,000円	30,000円

第6号議案 森の国まきステーションへの出資の件

森の国まきステーションの法人化に向け出資依頼あり 出資希望額は30万円

貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位 円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
	今 期	前 期		今 期	前 期
【流動資産】	39,426,018	24,790,730	【流動負債】	24,867,148	11,867,797
現金預金	1,981,192	3,711,594	買掛金	2,216,793	2,503,943
未収入金	28,447,951	11,363,732	借入金	8,038,441	3,998,230
有価証券	508,000	508,000	未払金	13,820,615	4,632,620
商 品	6,520,611	7,158,904	預り金	607,799	549,504
原 材 料	1,832,302	1,758,962	未払法人税等	183,500	183,500
仕 掛 品	350,292	365,468	【固定負債】	3,017,850	4,334,826
預 け 金	7,170	7,170	長期リース未払金	3,017,850	4,334,826
貸倒引当金	△221,500	△83,100			
【固定資産】	13,276,698	15,235,137			
(有形固定資産)					
建 物	28,539	42,807	負債合計	27,884,998	16,202,623
構 築 物	4,927,367	5,575,364	純 資 産 の 部		
機 械 装 置	5,078,033	4,701,944		今 期	前 期
車両運搬具	2	345,001	【株主資本】	24,817,718	23,823,244
工具器具備品	204,907	215,195	(資 本 金)	45,000,000	45,000,000
リース資産	3,017,850	4,334,826	(利益剰余金)	△20,182,282	△21,176,756
(投資等その他)			繰越利益剰余金	△20,182,282	△21,176,756
出 資 金	20,000	20,000			
			純資産合計	24,817,718	23,823,244
資産合計	52,702,716	40,025,867	負債・純資産合計	52,702,716	40,025,867

損益計算書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

(単位 円)

	今 期		前 期	
【売上高】				
育苗売上	45,373,878		45,572,007	
青果売上	20,473,303		19,228,295	
梅売上	17,893,410		11,575,294	
作業売上	11,071,042		9,283,366	
研修売上	1,468,872	96,280,505	949,674	86,608,636
【売上原価】				
仕入高	88,247		96,371	
当期製品製造原価	82,582,860	82,671,107	74,498,553	74,594,924
売上総利益		13,609,398		12,013,712
【販売費及び一般管理費】		46,665,226		44,343,072
営業損失		△33,055,828		△32,329,360
【営業外収益】				
受取利息	110		118	
受取配当金	37,000		32,000	
雑収入	3,725,280		1,560,518	
委託料	23,950,000		21,000,000	
補助金	17,778,625	45,491,015	10,246,340	32,838,976
【営業外費用】				
支払利息	59,727		7,110	
雑損失	2,610	62,337	1,074	8,184
経常利益	12,372,850	12,372,850		501,432
【特別利益】				
固定資産売却益			210,000	210,000
【特別損失】				
固定資産除却損			2	
固定資産圧縮損	11,189,195	11,189,195	3,514,000	3,514,002
税引前当期純利益		1,183,655		△2,802,570
法人税等		189,181		188,416
当期純利益		994,474		△2,990,986

販売費及び一般管理費

令和4年4月1日～令和5年3月31日

(単位 円)

科目名	今期	前期
役員報酬	90,000	90,000
給料手当	15,132,927	14,008,031
法定福利費	3,183,703	2,798,035
福利厚生費	1,598,473	1,589,155
賞与	4,921,200	4,635,650
広告宣伝費	42,900	66,000
販売燃料費	2,311,417	2,249,112
旅費交通費	254,815	35,940
通信費	362,012	361,556
水道光熱費	777,492	732,196
農具費	119,218	307,560
消耗品費	218,681	32,750
保険料	480,764	448,860
事務用品費	97,301	124,028
支払消費税	5,069,300	4,587,400
租税公課	226,583	267,562
交際接待費	18,804	10,000
減価償却費	3,619,444	4,265,986
賃借料	521,312	500,930
支払手数料	4,329,555	4,244,189
諸会費	69,250	126,668
事務費	911,453	941,391
衛生費	181,397	208,970
新聞図書費	27,876	37,932
土地借上料	245,200	228,300
立替資材代	438,784	314,850
貸倒引当金繰入額	138,400	49,200
雑費	1,276,965	1,080,821
合計	46,665,226	44,343,072

製造原価報告書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

(単位 円)

	今 期		前 期	
【材料費】				
種 苗 費	8,400,859		7,473,863	
肥 料 費	4,403,312		4,354,892	
農 薬 費	715,505		607,991	
諸 材 料 費	4,989,762		3,939,966	
花 蕾 費	124,795			
梅 費	7,789,907	26,424,140	4,296,390	20,673,102
【労務費】				
給 料 手 当	39,572,417		36,728,643	
法 定 福 利 費	4,838,038	44,410,455	4,905,100	41,633,743
【外注費】				
委 託 料	651,572	651,572	325,548	325,548
【経費】				
水 道 費	680,860		592,120	
修 繕 費	1,643,687		1,195,597	
電 力 費	2,977,310		2,404,283	
燃 料 費	5,794,836	11,096,693	7,674,160	11,866,160
当期製品製造原価		82,582,860		74,498,553

【監査報告】

監査の結果いずれも適法かつ妥当であることを認めます。

令和5年5月10日

監査役 毛利 達 晴

監査役 岡 村 俊 男

協議事項

第26期（令和5年度）事業計画案

各種育苗に関する業務を行う育苗事業、トマトやブルーベリー、花粉の生産販売を行う青果事業、梅加工場の運営を行う梅事業、農家支援を行うアグリレスキュー事業、研修により新規就農者をつくる研修事業の5つの事業を行う。

令和6年6月までに梅加工場で漬物製造業の許可を取得しなければならず、実質今年中に対応が必要となっている。町の協力のもとハード面とソフト面の両方を整備し取得を目指す。成果事業ではキウイ花粉事業が本番運用を迎える。トマト栽培に病害が発生しており既存の作業が疎かにならないよう注意を払いたい。

各事業とも人手不足気味の中、常勤パートが続けて定年退職を迎える。仕事を任せられる常勤パートの確保が必要である。

業 務	業 務 内 容
育苗事業の推進	<p>良質苗の提供により、大口の既存顧客を中心に、各直売所への出荷・品揃えを強化し売上を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・増加する野菜苗の注文を滞りなく生産出荷する。 ・DCMとの商談をまとめるとともに、直売所用の高価格商品を作る。 ・さくらひめについて栽培継続の判断を行う。
青果事業の推進	<p>栽培技術の確立により安定収穫に努めるとともに、直売所を活用し売上を拡大する。キウイ花粉事業を運用に乗せる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トマトの生産管理により安定生産と収量の増加を図る。 ・キウイ花粉精製の本番運用を滞りなく行う。 ・五郎丸ブルーベリー園について切り替えの検討を行う。
梅事業の推進	<p>梅農家育成により高品質な梅の受入量を増やし、高品質商品の出荷に努める。梅加工施設で漬物製造業の許可を取得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産した一次加工梅を年度内に全量出荷する。 ・梅農家育成と自社梅園について収量をあげる。 ・梅製品の開発を行う。
アグリレスキュー事業の推進	<p>各種団体の協力のもと積極的な受託作業を展開し優良農地の荒廃防止に努めるとともに、農地運営を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人員の募集を行い、増加する作業依頼に計画的に対応する。 ・技術向上により作業を安全かつ効率的に行う。 ・農作業受託事業連絡協議会メンバーとの作業受託の調整を行う。
研修事業の推進	<p>担い手総合支援事業を活用して研修を実施し、町内に新規就農者を確保する。営農ボランティアの活用を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修活動により新規就農者をつくる。 ・就農希望者に現場体験ができる様に栽培管理を行う。 ・研修生の募集活動を行い、研修実績をあげる。

第26期（令和5年度）収支計画案

収入 128,910 千円

支出 124,800 千円

今期利益 4,110 千円

繰越金 △20,182 千円

通期利益 △16,072 千円

(収入の部)

単位：千円

科 目		予算額	前予算	前実算	説 明
育苗事業費	事業収入	48,500	45,200	45,373	花苗、野菜苗、さくらひめ 指定管理料、農業振興費
	事業外収入	2,900	1,400	1,400	
青果事業費	事業収入	20,500	20,500	20,473	トマト、ブルーベリー、花粉、委託料 指定管理料、キウイ事業補助
	事業外収入	4,000	3,000	3,080	
梅事業費	事業収入	12,200	12,200	17,893	梅、選果代行、梅製品 指定管理料、塩・樽補助
	事業外収入	4,370	4,220	4,492	
アグリ事業費	事業収入	10,500	9,500	11,071	受託作業 事業補助、
	事業外収入	4,500	4,310	4,312	
研修事業費	事業収入	1,600	1,200	1,468	生産物販売 事業補助、担い手事業、指導料
	事業外収入	4,040	6,160	4,420	
事務所管理費	事業外収入	14,000	14,000	16,950	指定管理料
雑入		1,800	1,800	10,837	雑収入、指導料、事務所管理
合 計		128,910	123,490	141,771	

(支出の部)

単位：千円

科 目		予算額	前予算	前実算	説 明	
育苗事業費	一般管理費	6,500	5,500	6,391	支払手数料、減価償却費、販売燃料 費、保険料	
	製造原価	材料費	14,800	13,500	14,560	種苗、肥料、農薬、諸材料 人件費 電気水道燃料費、農家委託費
		労務費 製造経費	21,100 6,500	21,500 5,400	20,506 6,491	
青果事業費	一般管理費	5,500	4,500	5,463	支払手数料、減価償却費、販売燃料 費、土地代	
	製造原価	材料費	2,200	1,800	2,119	肥料、農薬、諸材料 人件費 電気水道燃料費、出荷資材
		労務費 製造経費	13,200 4,100	12,700 4,500	12,918 3,679	
梅事業費	一般管理費	2,200	1,900	2,080	配送費、支払手数料、リース代	
	製造原価	材料費	5,200	5,200	9,355	梅代、諸材料、塩代 人件費 電気水道、修繕費
		労務費 製造経費	7,700 600	7,700 600	10,985 1,101	
アグリ事業費	一般管理費	16,400	14,500	16,119	人件費、燃料費、減価償却、農具、 リース代	
	製造原価	材料費	100	0	242	農薬代 修繕メンテナンス
		労務費 製造経費	0 600	0 500	0 446	
研修事業費	一般管理費	3,700	3,720	1,628	人件費、支払手数料、リース代、土 地代、旅費	
	製造原価	材料費	450	150	233	種苗費、肥料費、農薬費、諸材料 車検、修繕費
		労務費 製造経費	0 150	0 100	0 29	
事務所管理費	一般管理費	13,000	16,400	14,980	人件費、消費税、減価償却費、事務 費、光熱費	
予備費		800	3,200	11,440	固定資産圧縮損、雑損	
合 計		124,800	123,370	140,777		

報告第5号

令和4年度松野町一般会計繰越明許費繰越計算書について

地方自治法施行令第146条第2項の規定により、令和4年度松野町一般会計繰越明許費繰越計算書を裏面のとおり報告する。

令和5年6月14日提出

松野町長 坂 本 浩

令和4年度松野町一般会計繰越明許費繰越計算書

款	項	事業名	金額	翌年度繰越額	左の財源内訳							
					既収入 特定財源	未収入特定財源				一般財源		
						国庫支出金	県支出金	地方債	その他			
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円			
2	総務費	1 総務管理費	地域情報通信基盤整備事業	37,627,000	37,627,000	0	0	0	37,100,000	0	527,000	
7	商工費	3	観光費	クライミングボード整備事業	8,470,000	8,470,000	0	0	3,000,000	0	5,030,000	440,000
8	土木費	2	道路橋梁費	道路新設改良事業（町道三原線改良事業外1件）	32,003,000	32,003,000	0	16,816,000	0	15,000,000	0	187,000
		3	河川費	砂防事業費（吉野3-3がけ崩れ防災対策事業外3件）	37,793,000	37,793,000	0	0	22,675,000	13,500,000	0	1,618,000
10	教育費	1	教育総務費	校務用テレワークシステム構築事業	12,738,000	9,965,000	0	0	0	0	0	9,965,000
		2	社会教育費	吉野生公民館実施設計事業	3,080,000	3,080,000	0	0	0	3,000,000	0	80,000
11	災害復旧費	2	農林水産業施設災害復旧費	林道施設災害復旧事業（林道小唐井線災害復旧工事）	4,330,000	4,330,000	0	0	0	2,100,000	216,000	2,014,000
合 計				136,041,000	133,268,000	0	16,816,000	25,675,000	70,700,000	5,246,000	14,831,000	

令和5年6月14日提出

松野町長 坂本 浩

報告第6号

令和4年度松野町一般会計事故繰越し繰越計算書について

地方自治法施行令第150条第3項の規定において準用する同令第146条第2項の規定により、令和4年度松野町一般会計事故繰越し繰越計算書を裏面のとおりに報告する。

令和5年6月14日提出

松野町長 坂 本 浩

令和4年度松野町一般会計事故繰越し計算書

款	項	事業名	支出負担 行為額	左の内訳		支出負担 予定額	翌年度 繰越額	左の財源内訳					説明	
				支出 額	支出 未済額			既収入 特定財源	未収入特定財源					一般 財源
									国庫 支出金	県 支出金	地方債	その他		
2 総務費	1 総務管理 費	地域情報通信基盤 整備事業	円 32,211,000	円 0	円 32,211,000	円 0	円 32,211,000	円 0	円 0	円 0	円 32,200,000	円 0	円 11,000	ウクライナ情勢により、機器に不可欠な半導体部品の供給に不測の日数を要したことによるもの。

令和5年6月14日提出

松野町長 坂本 浩

承認第6号

専決処分の承認について

地方自治法第179条第1項の規定により、別紙のとおり専決処分をしたので、同条第3項の規定によりこれを報告し、承認を求める。

令和5年6月14日提出

松野町長 坂 本 浩

記

令和5年5月31日専決処分 令和5年度松野町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）

令和5年度松野町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）

- 1 特別会計補正予算総則
- 2 歳入歳出予算補正
- 3 補正予算に関する説明書
 - (1) 歳入歳出補正予算事項別明細書

令和5年度松野町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）

令和5年度松野町の住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ37,842千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ38,017千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

令和5年5月31日専決処分

松野町長 坂 本 浩

令和 5年度松野町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算に関する説明書

第 1 表 歳入歳出予算補正

(歳入)

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
5. 諸収入		3	37,842	37,845
	2. 貸付金元利収入	2	37,842	37,844
歳入合計		175	37,842	38,017

(歳出)

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
4. 繰上充用金		0	37,842	37,842
	1. 繰上充用金	0	37,842	37,842
歳出合計		175	37,842	38,017

1. 総括

I 歳入歳出補正予算事項別明細書

(歳入)

(単位：千円)

款	補正前の額	補正額	計
5. 諸収入	3	37,842	37,845
歳入合計	175	37,842	38,017

(歳出)

(単位：千円)

款	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
4. 繰上充用金	0	37,842	37,842			37,842	
歳出合計	175	37,842	38,017			37,842	

2. 歳入

5 款 諸収入

2 項 貸付金元利収入

(単位：千円)

目	補正前の額	補正額	計	節		説明
				区分	金額	
1. 貸付金元利収入	2	37,842	37,844	2. 滞納繰越分	37,842	・滞納繰越分 37,842
計	2	37,842	37,844			
5 款合計	3	37,842	37,845			
歳入合計	175	37,842	38,017			

3. 歳 出

4 款 繰上充用金

1 項 繰上充用金

(単位：千円)

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳			一般財源	節		説 明
				特 定 財 源				区 分	金 額	
				国県支出金	地方債	その他				
1. 繰上充用金	0	37,842	37,842			37,842		21. 補償、補填 及び賠償金	37,842	・前年度繰上充用金 37,842
計	0	37,842	37,842			37,842				
4 款合計	0	37,842	37,842			37,842				

歳出合計	175	37,842	38,017			37,842				
------	-----	--------	--------	--	--	--------	--	--	--	--

議案第32号

旧慣による公有財産の使用権の廃止について

下記の公有財産（ため池）に係る用水の使用権その他一切の旧来の慣行を廃止したいので、地方自治法第238条の6第1項の規定により、議会の議決を求める。

令和5年6月14日提出

松野町長 坂本 浩

記

- 1 名称 楠池
- 2 所在地 松野町大字延野々802番地
- 3 地目 ため池
- 4 地籍 3,629㎡

議案第 33 号

町有財産のうち旧慣使用財産売却処分に伴う補償に関する条例の制定について

町有財産のうち旧慣使用財産売却処分に伴う補償に関する条例を次のように定める。

令和 5 年 6 月 14 日提出

松野町長 坂 本 浩

提 案 理 由

旧来の慣行により地元の団体や住民が使用权を有する町有財産について、当該団体又は住民以外のものに売却処分する際の補償の対象及び金額を定めるために条例を制定するもの。

町有財産のうち旧慣使用財産売却処分に伴う補償に関する条例

(趣旨)

第1条 この条例は、町有財産を売却処分する際、当該財産を旧慣による使用権を有する団体又は個人（以下「団体等」という。）以外のものに売却処分する際の補償に関し、必要な事項を定めるものとする。

(補償の対象)

第2条 補償の対象となるものは、町有財産を売却することによって、当該財産に対する旧慣による使用権を失うこととなる団体等とする。

(補償の金額)

第3条 前条の団体等に対する補償の金額は、当該財産の処分価格とする。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

令和5年度松野町一般会計補正予算（第2号）

- 1 一般会計補正予算総則
- 2 歳入歳出予算補正
- 3 債務負担行為補正
- 4 地方債補正
- 5 補正予算に関する説明書
 - (1) 歳入歳出補正予算事項別明細書

議案第34号

令和5年度松野町一般会計補正予算（第2号）

令和5年度松野町の一般会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ145,068千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ4,053,475千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

（債務負担行為の補正）

第2条 債務負担行為の追加は、「第2表 債務負担行為補正」による。

（地方債の補正）

第3条 地方債の変更は、「第3表 地方債補正」による。

令和5年6月14日提出

松野町長 坂 本 浩

令和 5年度松野町一般会計予算に関する説明書
 第 1 表 歳入歳出予算補正

(歳入)

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
10. 地方交付税		2, 1 1 6, 6 6 7	1, 8 7 6	2, 1 1 8, 5 4 3
	1. 地方交付税	2, 1 1 6, 6 6 7	1, 8 7 6	2, 1 1 8, 5 4 3
14. 国庫支出金		2 7 7, 7 3 7	3 1, 0 4 8	3 0 8, 7 8 5
	2. 国庫補助金	1 4 1, 5 3 0	3 1, 0 4 8	1 7 2, 5 7 8
16. 財産収入		3, 1 4 2	9 4 4	4, 0 8 6
	2. 財産売払収入	1, 8 0 2	9 4 4	2, 7 4 6
21. 町債		5 2 1, 7 2 4	1 1 1, 2 0 0	6 3 2, 9 2 4
	1. 町債	5 2 1, 7 2 4	1 1 1, 2 0 0	6 3 2, 9 2 4
歳 入 合 計		3, 9 0 8, 4 0 7	1 4 5, 0 6 8	4, 0 5 3, 4 7 5

(歳出)

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
2. 総務費		845,142	1,997	847,139
	1. 総務管理費	799,598	1,997	801,595
3. 民生費		835,408	31,048	866,456
	1. 社会福祉費	648,921	31,048	679,969
6. 農林水産業費		343,658	8,000	351,658
	2. 林業費	76,050	8,000	84,050
7. 商工費		248,928	720	249,648
	1. 商工費	248,928	720	249,648
10. 教育費		309,698	103,303	413,001
	2. 小学校費	40,078	30,027	70,105
	4. 社会教育費	102,975	73,276	176,251
歳出合計		3,908,407	145,068	4,053,475

令和 5年度
追加

第 2 表 債務負担行為補正

(単位：千円)

事 項	期 間	限 度 額
松野西小学校仮設倉庫借上料	令和 6 年度から令和 7 年度まで	912

令和 5年度
変更

第 3 表 地方債補正

(単位：千円)

起債の目的	補 正 前				補 正 後			
	限 度 額	起債の方法	利 率	償還の方法	限 度 額	起債の方法	利 率	償還の方法
過疎対策事業債（ハード事業分）	237,400	証書借入 又は 証券発行	年3.00%以内 (但し、利率見 直し方式で借入 れる政府資金及 び地方公共団体 金融機構資金に ついて、利率の 見直しを行った 後においては、 当該見直し後の 利 率)	政府資金につ いては、その融 通条件により、 銀行その他の場 合には、その債 権者と協定する ものによる。 ただし、町財 政の都合により 据置期間及び償 還期限を短縮し 、又は繰上償還 もしくは低利に 借換えすること ができる。	348,600	証書借入 又は 証券発行	年3.00%以内 (但し、利率見 直し方式で借入 れる政府資金及 び地方公共団体 金融機構資金に ついて、利率の 見直しを行った 後においては、 当該見直し後の 利 率)	政府資金につ いては、その融 通条件により、 銀行その他の場 合には、その債 権者と協定する ものによる。 ただし、町財 政の都合により 据置期間及び償 還期限を短縮し 、又は繰上償還 もしくは低利に 借換えすること ができる。

1. 総括

I 歳入歳出補正予算事項別明細書

(歳入)

(単位：千円)

款	補正前の額	補正額	計
10. 地方交付税	2, 1 1 6, 6 6 7	1, 8 7 6	2, 1 1 8, 5 4 3
14. 国庫支出金	2 7 7, 7 3 7	3 1, 0 4 8	3 0 8, 7 8 5
16. 財産収入	3, 1 4 2	9 4 4	4, 0 8 6
21. 町債	5 2 1, 7 2 4	1 1 1, 2 0 0	6 3 2, 9 2 4
歳入合計	3, 9 0 8, 4 0 7	1 4 5, 0 6 8	4, 0 5 3, 4 7 5

(歳出)

(単位：千円)

款	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
2. 総務費	845,142	1,997	847,139			944	1,053
3. 民生費	835,408	31,048	866,456	31,048			
6. 農林水産業費	343,658	8,000	351,658		8,000		
7. 商工費	248,928	720	249,648				720
10. 教育費	309,698	103,303	413,001		103,200		103
歳出合計	3,908,407	145,068	4,053,475	31,048	111,200	944	1,876

2. 歳入

10 款 地方交付税

1 項 地方交付税

(単位：千円)

目	補正前の額	補正額	計	節		説明
				区 分	金 額	
1. 地方交付税	2,116,667	1,876	2,118,543	1. 地方交付税	1,876	・ 普通交付税 1,876
計	2,116,667	1,876	2,118,543			
10 款合計	2,116,667	1,876	2,118,543			

14 款 国庫支出金

2 項 国庫補助金

2. 民生費国庫補助金	5,593	31,048	36,641	5. 社会福祉総務費補助金	31,048	・ 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費補助金 29,100 ・ 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事務費補助金 1,948
計	141,530	31,048	172,578			
14 款合計	277,737	31,048	308,785			

16 款 財産収入

2 項 財産売払収入

1. 不動産売払収入	1	944	945	1. 不動産売払収入	944	・ 不動産売払収入 944
計	1,802	944	2,746			
16 款合計	3,142	944	4,086			

21 款 町債

1 項 町債

1. 過疎対策事業債	340,100	111,200	451,300	1. 過疎対策事業債	111,200	・ 過疎対策事業債（ハード事業分） 111,200
------------	---------	---------	---------	------------	---------	---------------------------

21 款 町債

1 項 町債

(単位：千円)

目	補正前の額	補正額	計	節		説明
				区 分	金 額	
計	521,724	111,200	632,924			
21 款合計	521,724	111,200	632,924			

歳入合計	3,908,407	145,068	4,053,475			
------	-----------	---------	-----------	--	--	--

3. 歳 出

2 款 総務費

1 項 総務管理費

(単位：千円)

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳			一般財源	節		説 明
				特 定 財 源				区 分	金 額	
				国県支出金	地方債	その他				
6. 財産管理費	7,184	944	8,128			944		21. 補償、補填及び賠償金	944	・ 旧慣使用財産売却処分補償金 944
13. 電算管理費	95,999	1,053	97,052				1,053	12. 委託料	1,053	・ 財務会計システム改造委託料 1,053
計	799,598	1,997	801,595			944	1,053			
2 款合計	845,142	1,997	847,139			944	1,053			

3 款 民生費

1 項 社会福祉費

1. 社会福祉総務費	110,029	31,048	141,077	31,048				3. 職員手当等	125	・ 時間外勤務手当 125
								10. 需用費	40	・ 消耗品費 40
								11. 役務費	298	・ 通信運搬費 191 ・ 口座振込手数料 107
								12. 委託料	1,485	・ 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金システム構築委託料 1,485
								18. 負担金、補助及び交付金	29,100	・ 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 29,100
計	648,921	31,048	679,969	31,048						
3 款合計	835,408	31,048	866,456	31,048						

6 款 農林水産業費

2 項 林業費

(単位：千円)

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳			一般財源	節		説明
				特定財源				区分	金額	
				国県支出金	地方債	その他				
2. 林業振興費	42,047	8,000	50,047		8,000		23. 投資及び出資金	8,000	・ 林業振興法人設立出資金 8,000	
計	76,050	8,000	84,050		8,000					
6 款合計	343,658	8,000	351,658		8,000					

7 款 商工費

1 項 商工費

3. 観光費	191,515	720	192,235				720	12. 委託料	720	・ 淡水魚畜養委託料 720
計	248,928	720	249,648				720			
7 款合計	248,928	720	249,648				720			

10 款 教育費

2 項 小学校費

1. 学校管理費	32,745	30,027	62,772		30,000		27	13. 使用料及び賃借料	547	・ 仮設倉庫借上料 547
								14. 工事請負費	29,480	・ 工事請負費 29,480
計	40,078	30,027	70,105		30,000		27			

10 款 教育費

4 項 社会教育費

2. 公民館費	13,903	73,276	87,179		73,200		76	12. 委託料	660	・ 工事監理委託料 660
								14. 工事請負費	72,616	・ 工事請負費 72,616

10 款 教育費

4 項 社会教育費

(単位：千円)

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳			一般財源	節		説 明
				特 定 財 源				区 分	金 額	
				国県支出金	地方債	その他				
計	102,975	73,276	176,251		73,200		76			
10 款合計	309,698	103,303	413,001		103,200		103			

歳出合計	3,908,407	145,068	4,053,475	31,048	111,200	944	1,876		
------	-----------	---------	-----------	--------	---------	-----	-------	--	--

議 長	事務局長	書 記
		

令和5年6月9日

松野町議会議長 加藤 康幸 殿

議会運営委員長 赤松 紀幸

閉 会 中 の 継 続 調 査 申 出 書

本委員会は、所掌事務のうち次の事件について、閉会中の継続調査を要するものと決定したので、松野町議会会議規則第75条の規定により申し出ます。

記

事 件 議会運営及び議長の諮問に関すること

期 間 次期議会まで



議員派遣の件

令和5年6月14日

本議会は、地方自治法第100条第13項及び松野町議会会議規則第129条の規定により、次のとおり議員を派遣する。

1 森の国まつの応援団関東支部の集い及び先進地視察研修

- (1) 目的 議会の活性化に資するため
- (2) 派遣場所 東京都・茨城県
- (3) 期 日 令和5年7月16日(日)～18日(火)
- (4) 派遣議員 議員全員

2 愛媛県町村議会議長会第1回町議会議員研修会

- (1) 目的 議会の活性化に資するため
- (2) 派遣場所 松山市
- (3) 期 日 令和5年8月4日(金)
- (4) 派遣議員 議員全員

尚、細部については、議長に一任する。